

■野中到(至) 富士山頂越冬気象観測に挑戦，危険と下山させられ，大歓迎を受けるも，以後忘れられる。

のなかいたる

大政奉還・・1867 = 筑前国(福岡県)早良郡鳥飼村で，黒田藩士の子に生まれ，

明治維新・・1868 = 1歳：

明治6年政変 1873 = 6歳：

三つの内乱・1876 = 9歳：

維新後，明治政府に仕えて大審院判事にまで至った父の希望で，

医学を修めるべく，ドイツ協会学校に入り，

明治14年政変1881 = 14歳：

岩倉具視没・1883 = 16歳：大学予備門に進んで，同じ下宿の尾崎紅葉と親交したが，

内閣発足・・1885 = 18歳：

帝大の競技会でわが国で初めての優勝カップを受けたり，滑式ボート(一人乗り)を最初に造船するなど，
進取の気性に富み，

帝国憲法発布1889 = 22歳：_もっと壮大なことを志すようになり，父の怒りも乗り越えて中退，

足尾鉾毒始・1891 = 24歳：同じ旧黒田藩士の従兄妹千代と結婚。 気象学に関心をもって独学するうち，

大本教・・・1892 = 25歳：_フランス留学から帰国した中央気象台予報課長の和田雄治を紹介されて，山頂観測の重要性を教えられ，

郡司千島探検1893 = 26歳：郡司大尉の千島探検に刺激され，ついに富士山頂越冬気象観測の念が耐えがなくなり，

日清戦争始・1894 = 27歳：*和田の支援を受け，大日本気象学会に入って機関誌でその決意を発表，

日清戦争終・1895 = 28歳：*私設観測所を建てて観測を開始，身を案じる妻が小屋に訪れたが，栄養不足と寒冷のため，ともに病に倒
れて危険な状態となり，和田によって下山させられたが，この壮举が大きな評判となって，のちいくつかの
小説・戯曲に描かれる。

松隈内閣・・1896 = 29歳：*ようやく体力を回復して帰京，あたかも凱旋將軍のような歓迎を受ける。

八幡製鉄始・1897 = 30歳：中央気象台技手となって，夏季再び富士山頂を訪れ，小屋に異常無いことを確認，

Bushidou・・1899 = 32歳：本格的な観測所建設を願って，富士観象会を結成し，募金に乗り出す。

田中正造直訴1901 = 34歳：*著書「富士案内」も出版したが，みのらず，

日比谷公園・1903 = 36歳：

日露戦争終・1905 = 38歳：

明治天皇没・1912 = 45歳：

21ヶ条要求・1915 = 48歳：最大の理解者和田も急病となり，野中が看護するなか，死去し，

原敬首相暗殺1921 = 54歳：

関東大震災・1923 = 56歳：妻千代をも失う。

海軍軍縮条約1930 = 63歳：

満州事変・・1931 = 64歳：年中無休の国営頂上観測所の建設が決定される。

日中戦争始・1937 = 70歳：

第二次大戦始1939 = 72歳：

日米開戦・・1941 = 74歳：

敗戦・・・・1945 = 78歳：_戦時中に野中の話を聞いて感動し，その小説を書くも検閲で発表できなかった橋本英吉が，

新憲法施行・1947 = 80歳：_戦後，雑誌に発表して野中の生存を知り，訪ねて来るなどした後，

極東裁判決・1948 = 81歳：

55年体制始・1955 = 88歳：_没した。

さえら伝記ライブラリ「日本の山に生きた人々」，「この人どんな人」，「目でみる日本人物百科」，